

①経営体の概要

- 所在地: 宮崎県西都市
- 経営体名: 施設園芸 橋口仁一
- 栽培作物: ピーマン
- 作付面積: 40a
- 労働力: 夫婦、年雇用4名、期間雇用(10ヶ月)1名、短期3名

②導入技術・システム(商品名・サービス名と企業名)

- ハウス自動開閉システム(サンクルシステム(株))
- ハウス複合環境制御装置(ニッポー)
- 自動かん水装置(ヒロ電工)
- 光合成促進装置(フルタ)



ハウス内の様々なデータを確認

ハウス複合環境制御装置
(高速高濃度CO2センサ)

③導入の経緯

- より効果的な生産方式を模索していた時に県内外の生産現場を視察する機会があり、システム導入の効果を見聞きし導入

④導入に当たり活用した補助事業等(国、県)

- 持続的生産強化対策事業のうち次世代につなぐ営農体系の確立支援(平成31年度)

⑤導入してどうだったか(その1 導入前との比較、効果)

- 作業時間の短縮
 - ・システムを組合せて導入したことによって離れた所でハウスの状況が確認できるため移動時間等が削減され全体の農作業が効率的に行えるようになった。
 - ・作業員との情報共有の時間が多くとれるようになった。
- 生産量(単収)が増加
 - ・IT企業と連携し、データを効果的に活用することにより導入前約10t/10a → 平成30年19t/10a
目標は平均で20t超/10a

⑥導入してどうだったか(その2 改善してほしい点、課題)

- 防災対策として、「風速」や「風向」をより正確(小地域)に予想できるデータ情報がほしい。
- システム等の人気(流行)により希望するシステムの納品に期間を要する。

